



テーマ	解決手法	これまでの課題	これまでの取組み（実績）	見えてきた課題	今後の試み
	流域に関する課題 (令和4年より)		<ul style="list-style-type: none"> （令和3年）矢作川水系の初音川において、ビオトープ施工箇所の現地視察を行い、造成の経緯、愛護会の活動、整備の状況について情報共有を行った。 （令和4年）矢作川水系矢作古川の支川である一級河川広田川（菱池遊水地）での大規模特定河川事業について解説いただき、菱池遊水地の利活用について意見交換を行った。また、矢作川上流域河川整備計画・川づくり計画基本設計について情報提供された。 	菱池遊水地の利活用に関する進捗状況の共有	菱池遊水地の現地視察
地域の人々と川との関係を中心とした、地先の課題（河川空間の利用・保全のあり方）	地域連携モデル↓共有・交流に関する課題	<p>地先の活動内容の把握・評価</p> <p>ごみの問題等の課題の解決に向けた市民への啓発</p>	<ul style="list-style-type: none"> （平成24年）家下川合流点から矢作古川分派点と乙川の現地調査を行い、活動団体や管理者が抱える課題や活動内容について、情報共有した。 （平成25～平成26年）活動団体へのヒアリングを継続するとともに、活動団体を掘り起こし、広く活動団体の状況を把握するため、新たにアンケート調査を実施した。 （平成25～平成27年）活動団体リストを概ねまとめ終わり、活動団体マップの作成に着手した。 （平成26年）専門家リストのたたき台を作成することができた。 （平成29年～平成30年）流域圏担い手づくり事例集をWGで取り上げ、協働して取り組むことになった。取材先の選定にあたっては、過去に作成した専門家リストを活用した。 （令和2年）これまでの矢作川流域圏の流れや10年誌作成の進捗状況について情報共有を行った。 （令和4年）流域圏懇談会の活動を見直し、広げていくための取組みとして、他団体（西三河南部生態系ネットワーク協議会）との連携を行い、ブレインストーミングを実施した結果、流域圏懇談会がプラットフォームとして機能していけるとよいとの意見が挙がった。 （令和元年）川部会メンバーが考える矢作川流域圏年表を作成した。また、国土交通省が検討している「河川ごみ対策の手引き（仮称）」について情報提供を行った。 （令和3年）市民部会主催のマイクロプラスチックに関する公開講座について、懇談会内外へ周知するとともに、オンライン参加した。 （令和4年）矢作川流域圏および近隣流域における川・海ごみの分布や特徴について情報共有を行った。 	<p>活動団体リストの更新</p> <p>メンバーの拡大、市民の議論参加の拡大</p> <p>関係団体同士の繋がり場の提供を担う</p> <p>他部会との協働・課題に対する川部会主導の行動</p>	<p>活動団体リストの更新・活用</p> <p>担い手づくり事例集の活用</p> <p>プラットフォームとしての役割の検討</p> <p>ごみに関する情報共有</p>

矢作川流域圏懇談会の波及効果（懇談会のプラットフォームとしての役割）	きっかけ
<ul style="list-style-type: none">（平成24年～令和5）山村再生担い手づくり事例集、流域圏担い手づくり事例集、事例集交流会による取材者と取材対象者（団体）、取材者同志の新たな繋がりが生じた。（平成26年～令和5年）根羽村森林組合が開催する木づかい推進（スギだらキャラバン）に『矢作川流域圏懇談会』の名称を示す。動く木のおもちゃ等の根羽スギを活用したアイテムに、矢作川流域圏懇談会の名称を印字することで、懇談会の存在をアピール。（平成25年～令和5年）愛知・川の会、奈佐の浜プロジェクトへの参加（団体同士の参加呼びかけ）（平成30年）天竜川とのつながり（天竜舟下り・スギダラ天竜支部）（平成26～令和5年）愛知県主催の三河大感謝祭に根羽村森林組合が参加（平成29～令和5年）流域の森林組合（根羽村森林組合・恵南森林組合・豊田森林組合・岡崎森林組合）が協働してイベントに参加（令和3年）矢作川流域圏懇談会10年誌の東京大学の講義で活用（令和3年～4年）公開講座を通して、全国に矢作川流域圏懇談会の存在をPR、懇談会員以外からの問い合わせをいただく（令和3年～5年）いい川づくりワークショップにおいて、懇談会員と会員以外の参加者の交流が生じる（令和4年～5年）根羽村・林業のミライ合宿を大学生（岐阜大学、信州大学、人間環境大学）主体の若者で実施（令和5年）大学生の就職先や卒業論文のテーマの斡旋・助言（信州大学4年生）（令和5年）Foods for Children愛知との意見交換（オーガニック給食に関する）	<p>⇒事例集の作成</p> <p>⇒山部会WG・FW、矢作川感謝祭等</p> <p>⇒すべての部会（情報上祐 ⇒山部会WG、事例集交流会（H30）</p> <p>⇒山部会WG ⇒山部会WG（山村ミーティング） ⇒市民部会、海部会発公開講座 ⇒矢作川流域圏懇談会10年誌の発行 ⇒市民部会、地域部会</p> <p>⇒山部会WG・FW</p> <p>⇒山部会WG・FW、市民部会 ⇒市民部会公開講座</p>